

アフターコロナ

黒田インターナショナル

黒田 毅

コロナ禍は、唯一始まりであり、終わりではない。混乱は長期化を予測させる。

これらは経済の混乱と政治の混乱、戦争を有する新たな世界への変化であり、留意されるのはそのライフラインの危機となる。

これらは世界が分裂し、未来を個別に有するならば、国際連合における自己プレゼンスと世界政府という現実が必ずしも、計画どおり与えられないと考える。

これらは宇宙の介入も存在し、明確な未来予測はできない。

これらライフラインの危機は、政治の自己構築を不安定にし、国民生活が危機的な現実を有することも考えられる。

これら他方においてエリートは夢想もしない世界と未来を求めるのである。

これらは明らかに世界の2分化を有する。これはアルマゲドンを予測させる。

これらが空想や創造で、必ずしもないことは、それら計画が存在するからである。

自己の生活の維持は、経済的な基盤を要求する。これらは経済システムが、ライフラインの要求とエリートたちの映画という2つの現実を予測させる。

これらは世界の各国が同じ現実を有することはないと考える。それら明らかな相違性は、アルマゲドンに集約されるかもしれない。